

第1. 事業の状況

01. 令和7年度事業総括(2025)

事業区分	拠点区分	サービス区分・主な事業	主な収入	事業目的・事業内容
社会福祉	法人本部	法人本部	寄附金・繰入金	定款・規程類の整備、給与・人事管理の総括、予算決算及び資金管理・経営の総括、中・長期計画の算定。
		総合相談室		相談窓口・施設連携・地域活動・相談員支援を主な事業とし、近隣地域の福祉向上に寄与する。
		研究・研修センター		研究・研修助成事業及び法人職員研修を実施する。
	慈啓会養護老人ホーム	慈啓会養護老人ホーム	措置費	原則として 65 歳以上で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方が入所する。
		慈啓会養護 特定施設入居者介護事業	介護保険収入 利用者負担金収入	
	慈啓会ふれあいの郷 養護老人ホーム	ふれあいの郷養護老人ホーム	措置費	原則として 65 歳以上で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方が入所する。
		ふれあいの郷養護 特定施設入居者介護事業	介護保険収入 利用者負担金収入	
		ふれあいの郷 高齢者生活福祉センター	委託料	原則として 60 歳以上の札幌市民で、高齢等のため居宅において生活することに不安のある方が入居する。居室:個室(個室、洗面所、便所、収納スペース、調理設備等)、原則自炊
	慈啓会特別養護老人ホーム	慈啓会特別養護老人ホーム (従来型)	介護保険収入 利用者負担金収入	加齢や疾病等により、入浴、排泄、食事などの動作に障害があり、自宅での生活が困難な入居者に常時介護を提供する(日常生活の世話を重視した生活施設)。又、入居者一人一人意志及び人格を尊重し、個別ケアを主体として福祉サービスを提供する。
		慈啓会特別養護老人ホーム (ユニット型)		特別養護老人ホームにて、短期間入所しながら、入浴・排泄食事等の介護や日常生活の世話及び機能訓練を行う。また、要支援者に対しては介護予防を目的としたサービスを提供する。
		慈啓会短期入所施設 (ユニット型)		
		慈啓会デイサービスセンター (一般型)		特別養護老人ホームに併設されたデイサービスホールにて、入浴、食事の提供や日常動作訓練、レクリエーション、送迎などを行う。
		慈啓会訪問介護		ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴・排泄・食事などの介護や、掃除・洗濯・炊事など日常生活上の世話をする。
		慈啓会介護総合相談センター		在宅サービス等を適切に利用できるように、心身の状況、環境、本人や家族の希望等を受けて、利用するサービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービス提供確保のため事業者等と連絡調整等を行い、介護保険施設入所が必要な場合は、施設への紹介等を行う。
		中央区 介護予防センター旭ヶ丘	委託料	地域包括支援センターの機能を補完する協力機関として、より身近な地域の相談窓口となり、連携協議して介護予防サービスを行う。
	札幌市稲寿園	稲寿園特別養護老人ホーム	介護保険収入 利用者負担金収入	加齢や疾病等により、入浴、排泄、食事などの動作に障害があり、自宅での生活が困難な入居者に常時介護を提供する(日常生活の世話を重視した生活施設)。又、入居者一人一人意志及び人格を尊重し、個別ケアを主体として福祉サービスを提供する。
		稲寿園短期入所施設		特別養護老人ホームにて、短期間入所しながら、入浴・排泄食事等の介護や日常生活の世話及び機能訓練を行う。また、要支援者に対しては介護予防を目的としたサービスを提供する。
		稲寿園デイサービスセンター		特別養護老人ホームに併設されたデイサービスホールにて、入浴、食事の提供や日常動作訓練、レクリエーション、送迎などを行う。
		稲寿園訪問介護		ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴・排泄・食事などの介護や、掃除・洗濯・炊事など日常生活上の世話をする。
		稲寿園介護総合相談センター		在宅サービス等を適切に利用できるように、心身の状況、環境、本人や家族の希望等を受けて、利用するサービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービス提供確保のため事業者等と連絡調整等を行い、介護保険施設入所が必要な場合は、施設への紹介等を行う。
	札幌市菊寿園	札幌市菊寿園 (軽費老人ホーム A 型)	委託料	60 歳以上の札幌市民で、家庭環境、住宅事情等の理由により、居宅において生活することが困難な方が入居する。(所得制限あり) A 型: 食事付 B 型: 自炊
	札幌市拓寿園	札幌市拓寿園 (軽費老人ホーム B 型)		
	慈啓会老人保健施設	入所療養介護	介護保険収入 利用者負担金収入	病状が安定し、看護・医学的管理の下で介護及びリハビリテーション等を提供し、家庭復帰ができるように支援する療養施設。
		短期入所療養介護		老人保健施設にて、短期間入所しながら、看護・医学的管理の下で介護や機能訓練を行う。
		通所リハビリテーション		老人保健施設にて、理学療法士や作業療法士等によるリハビリテーションを中心とした日帰りサービスを行う。
	慈啓会病院	慈啓会病院	診療報酬 利用者負担金収入	傷病者のための科学的でかつ適正な医療を行う。 ＜診療科目＞ 内科、老年内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、精神科、リハビリテーション科、放射線診断科
	啓明ともいき保育園	啓明ともいき保育園 (認定こども園)	保育所運営費収入 利用料収入	就労等の理由により保育に欠ける生後 5 ヶ月から小学校入学前の乳幼児の一人ひとりが、心身ともに健康で、たくましく、思いやりのある子どもに育つ保育と保護者や地域との連携を深めて子育ての楽しさを伝える。また、満 3 歳以上の子どもに対する教育と、家庭において養育される事が困難な子どもの保育と合わせて、一体化しての教育・保育を提供する。特別保育事業として、延長保育事業と一時保育事業を行う。
公益	札幌市中央区 第2地域包括支援センター	中央区 第2地域包括支援センター	委託料	高齢者が、住み慣れた地域で、自立した生活を継続することができるように、町内会組織などの関係機関と連携し、必要な介護予防の支援を包括的に行う中核機関。
		中央区 第2介護予防支援事業所	介護保険収入	要支援状態にある高齢者が、地域で自立した生活を送ることができるように、介護予防のためのサービス計画を作成し、事業者との連絡調整等を行う介護予防ケアマネジメント事業。
	札幌市中央区 第3地域包括支援センター	中央区 第3地域包括支援センター	委託料	高齢者が、住み慣れた地域で、自立した生活を継続することができるように、町内会組織などの関係機関と連携し、必要な介護予防の支援を包括的に行う中核機関。
		中央区 第3介護予防支援事業所	介護保険収入	要支援状態にある高齢者が、地域で自立した生活を送ることができるように、介護予防のためのサービス計画を作成し、事業者との連絡調整等を行う介護予防ケアマネジメント事業。

02. 法人本部 2025 (R7)

基本方針	1. 法人理念「共生」のもと、社会福祉事業の推進を行った。 2. 法人の経営方針及び中長期経営計画の策定を行った。法人 100 周年を記念した取り組みや行事を実施した。 3. 地域における公益的な取組や社会貢献事業を実施した。 4. 職員の意識・資質の向上に資するため、トータルな人材マネジメントを推進した。 5. コンプライアンス（法令遵守等）を徹底について推進の取り組みを行った。 6. 感染症・災害時等の BCP 計画について、内容のアップデート・見直しの支援を実施した。
重点目標	【経営全般】 1. 法人全体および各拠点の経営について分析・把握・管理を行い、健全な財務規律の確立に取り組んだ。 2. 将来にわたって安定した法人経営を実現するために 2025 年にに向けた中期計画、2040 年を見据えた長期計画の策定を進めている。 3. 内部コミュニケーションおよび外部コミュニケーションの充実をはかり横断的な組織風土を目指し、組織のガバナンスの強化に取り組み、法人本部による内部監査を実施のほか、期日管理表やメールの共有等を実施した。 4. 全ての業務分野において、サービスの質的向上に繋げるべく DX（デジタルトランスフォーメーション／デジタル技術による業務変革）を推進し、業務の効率化・省力化等、業務改善の取り組みとして、養護系・包括系の介護ソフト変更の企画、契約を進めた。 5. 感染症の取り扱いにつき、情報収集および各拠点への発信を行うとともに、予防の徹底と長期的視点で法人全体の事業継続が可能となるよう対策を講じている。 【地域における公益的な取組】 1. 法人及び各拠点が行う地域福祉事業を支援した。 2. 災害時における福祉施設の広域的な取組を推進した。 （1）自然災害や感染症等の緊急事態に備え作成した事業継続計画（災害編・感染症編）について、定期的な見直しを実施し内容のアップデートを行うため、研修等を開催した。 （2）石狩・後志・空知地区の要援護者等の支援センター及び拠点法人として、情報集約や連絡調整業務、緊急時機器の管理・配備を行うとともに、「連携のあり方」の協議を実施。 【人事・職員処遇】 1. 人材確保は、ホームページや SNS を使った法人の発信継続について人材プロジェクトを推進、採用コンサル「NURSY REACH」の利用を企画し開始した。就職セミナー等の集合形式や紙媒体による求人だけではなく、法人独自の採用向上策を講じてゆくとともに、外国人受け入れの拡大と介護系カリキュラムを有する高校の生徒を対象としたリクルート活動を継続している。また、離職防止および定着向上のためプロジェクトと協働し対策を進めた。 2. 人事制度や給与制度等の改正についてプロジェクトを進め、具体的協議および対策として、【「規程改正「処遇改善等手当（保育園）：6 月」、「最低賃金上昇に伴う改正：8 月」】対応実施。 3. 働き方改革に沿ってその時代に合った法人諸制度の改正を継続的に協議を進めた。【規程改正「育児介護休業：8 月」、「休職制度・年休：11 月」、「ハラスメント規程：3 月」 4. 次世代人材を積極的に各種プロジェクトへ参画させたり、法人研修での講師として意識向上を図った。 5. 労働安全衛生管理を推進する。法人統括衛生委員会活動の充実、職員対象の心の相談室「ひだまり」の運営や研修会の開催等により、職員が働きやすい環境づくりを継続中。また、職員全体の DX 化に対するリテラシー向上を進めている。 【財務】 1. 法人全体における経理規定の周知と遵守を徹底し、財務管理の透明性向上に取り組んだ。 2. 法人ルールの周知を図り、法人の事務担当職員における社会福祉法人会計の基礎実務向上に取り組み、適切に実践できるようにするため、拠点のフォロー業務を見直した。また、事務連絡会議の開催等により情報共有・意思統一を進めているほか法人本部による内部監査を実施。 3. 従来の会計プロセスやワークフローの中で無駄や非効率な業務を洗い出し最適化を図り、業務フローの標準化と処理の迅速化実現を進めているほか、人事異動に伴う拓寿園のサポートを通じ、業務最適化を果たした。 4. インボイス制度の対応を強化し、適格請求書の保存・管理を徹底する。法人全体として運用状況を安定させるため内部監査等を活用する等、改善したい。 5. 法人内の人員管理を含むコスト・マネジメントを重視し経営改善推進。特に人員計画を基に人員管理を徹底し、理解が進んだ。 【コンプライアンス・リスク管理】 1. 法人理念の理解と倫理綱領・法令遵守等の周知徹底を継続するとともに、研修体制を強化した。 2. ハラスメント対応について研修の実施も含め組織的に実践した。また、ハラスメント規定改定も実施。 3. 情報管理におけるガバナンスの整備を継続した。 4. 裁判例に基づいた就業規則全般の見直しを継続中。 【広報・情報開示】 1. ホームページや各種 SNS 等を活用し、地域における公益的な取り組みの情報公開や求人活動の PR 等を通じて、法人の発信力の強化を図るため、外部サービス」を契約し運用開始した。 2. 法人創設 100 周年記念事業を計画し実施・完了した。 【契約事務】 1. 給食業務について、原則として公募・プロポーザル方式による契約更改を検討している。 2. 各拠点の意向を確認するとともに、物価上昇・国際情勢を意識しながら、契約の更新・更改を図った。

03. 総合相談室

2025(R7)

1) 相談受付

①総合相談件数

方 法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
電話・直通	31 30	30 30	28 28	12 12	9 9	20 20	10 9	19 18	32 32	38 38	34 34	47 47	310 307
来 訪	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
訪 問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	1	1	1	3	1	0	0	0	0	8
総 数	32	30	28	13	10	21	14	20	33	38	34	47	320

*その他は郵便、メール、留守電等

②相談内容(複数入力可)

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
特養	4	1	0	0	0	1	0	1	2	0	3	2	14
慈啓会病院	0	1	0	3	2	0	1	0	2	2	0	2	13
老健	1	0	0	0	0	0	3	1	1	0	0	0	6
養護	1	1	0	0	0	0	1	2	1	1	1	1	9
軽費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
居 宅	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
包括	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ショート	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
通所サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活支援ハウス	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
法人外施設紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
その他	26	27	27	10	7	19	9	18	27	33	30	42	275
合 計	32	30	28	13	10	21	14	22	33	38	34	47	322

2) 見学案内

実施件数:3件

見学者総数:47名

3) 会議参加

会議名	出席回数	会議名	出席回数
役員会	8	入所判定会議(特養)	12
月例会	11	入所判定会議(稲寿園)	10
経営会議	11	本部部長会議	44
四役会	8	人事考課委員会	8
医療連携会議	3	懲戒委員会	3
日福大連携法人会議	4	道社協災害連携会議	1
中央区合同認知症カフェ会議	7		

4) 会議開催

会議名	出席回数
苦情解決第三者委員会	2
次世代PJT	6
100周年記念PJT	2
本部連絡会議	12
相談員連携会議	3

5) 連携・調整

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
慈啓会特養	4	8	10	8	8	11	10	9	11	5	5	5	94
慈啓会病院	4	11	12	8	5	6	7	6	13	4	1	6	83
慈啓会老健	6	8	13	7	3	4	8	7	13	6	3	6	84
慈啓会養護	5	7	7	10	7	4	12	7	9	4	2	6	80
稲寿園	5	6	6	7	4	8	8	4	9	3	2	4	66
ふれあいの郷	5	8	7	7	3	7	7	5	9	3	1	4	66
拓寿園・菊寿園	8	13	20	11	6	10	10	6	9	5	4	5	107
予防センター	2	0	0	5	4	3	7	3	8	3	1	4	40
居 宅	1	1	0	5	4	3	5	3	7	3	1	4	37
包括支援センター	16	15	16	7	7	8	10	4	14	7	4	7	115
在宅サービス	0	1	0	5	4	3	6	4	8	3	1	6	41
保育園	4	7	6	6	4	3	5	6	7	2	2	4	56
法人外施設	17	22	10	11	12	5	11	18	20	18	5	20	169
合 計	77	107	107	97	71	75	106	82	137	66	32	81	1,038

6) その他

・広報誌共生発行 7月(16号)、1月(17号)

04. 研究・研修センター

2025(R7)

1) 助成事業「さっぽろ慈啓会共生(ともいき)助成事業」

会議 運営委員会 3回(6月6日、9月18日、R8年3月11日 ZOOM開催)
 審査委員会 2回(6月27日 ZOOM開催、R8年3月 書面開催)

・2025年度助成事業

助成事業公募方法 札幌医大 他道内福祉系学科を有する大学へ案内
 法人ホームページ、医療新聞、介護新聞への掲載

募集応募: 7件

助成決定: 5件 申請総額 2,340,900円

実績報告: 5件 助成総額 2,340,900円

・2026年度助成事業

助成事業公募方法 札幌医大 他道内福祉系学科を有する大学へ案内
 法人ホームページ、SNSへの掲載

課題募集期間 2026年4月1日～4月30日

2) 研修企画

法人研修開催 14回

・「令和7年度 新採用者オリエンテーション」

【講師】法人本部職員各担当者

【開催日・参加者数】集合開催 令和7年4月1日(火) 36名 / 4月2日(水) 28名

・メンタルヘルス研修「メンタルヘルスとリフレーミング～物事の見方を変える」

【講師】札幌国際大学 人文学部 心理学科 教授 澤田 信也 氏

【開催日・参加者数】Zoom開催 令和7年5月22日(木)17:45～18:45 380名(録画視聴含む)

・虐待、身体拘束・行動制限研修「身体拘束・虐待・行動制限について」

【講師】中央区第3地域包括支援センター センター長 小林 智巳 氏

【開催日・参加者数】Zoom開催 令和7年6月25日(水)17:45～18:30 400名(録画視聴含む)

・組織研修「カスタマーハラスメントについて」

【講師】専務理事/事務局長 今 真一 氏

【開催日・参加者数】Zoom開催 令和7年7月16日(水)17:45～18:30 407名(録画視聴含む)

・新採用職員フォローアップ研修 振り返りシート(3ヶ月)

【講師】札幌国際大学 人文学部 心理学科 教授 澤田 信也 氏

【開催日・参加者数】集合開催 令和7年7月17日(木)15:00～17:00 4名

・褥瘡ケア研修「褥瘡ケアについて」

【講師】市立札幌病院 看護部 皮膚・排泄ケア特定認定看護師 田村 綾 氏

【開催日・参加者数】Zoom開催 令和7年8月20日(水)17:45～18:45 425名(録画視聴含む)

・BCP研修「BCP研修～実践編～」

【講師】特別養護老人ホーム札幌市稲寿園 事務課長 高橋 範祥 氏(録画視聴含む)

【開催日・参加者数】Zoom開催 令和7年9月29日(月)17:45～18:30 466名(録画視聴含む)

・感染症研修「感染予防について」

【講師】市立札幌病院 医療品質総合管理部 感染管理担当課 課長 土佐 理恵子 氏

【開催日・参加者数】Zoom開催 令和7年10月29日(水)17:45～18:45 496名(録画視聴含む)

・安全運転研修「安全運転講習～事故防止の考え方～」

【講師】東京海上日動火災保険株式会社 札幌中央支店 水本 愛美 氏

【開催日・参加者数】Zoom開催 令和7年11月27日(木)17:45～18:45 452名(録画視聴含む)

・人事考課研修「人事考課について」

【講師】札幌慈啓会 法人本部 事務次長 古清水 康介 氏

【開催日・参加者数】Zoom開催 令和7年12月23日(火)17:45～18:45 432名(録画視聴含む)

・認知症研修「パーソン・センタード・ケアについて」

【講師】NPO法人パーソン・センタード・ケアを考える会 代表 村田 康子 氏

【開催日・参加者数】Zoom開催 令和8年1月23日(木)17:45～17:45 186名(録画視聴なし)

・事故防止研修「介護事故とその予防策について」

【講師】特別養護老人ホーム札幌市稲寿園 施設福祉課長 花井 雄樹 氏

【開催日・参加者数】Zoom開催 令和8年2月26日(木)17:45～18:30 414名(録画視聴含む)

・新採用職員フォローアップ研修 ・振り返りシート(12ヶ月)

【講師】札幌国際大学 人文学部 心理学科 教授 澤田 信也 氏

【開催日・参加者数】集合開催 令和8年3月19日(木)16:00～17:30 3名

・権利擁護・コンプライアンス・個人情報保護研修「権利擁護およびコンプライアンス・個人情報保護について」

【講師】弁護士法人リブラ共同法律事務所 弁護士 小泉 純 氏

【開催日・参加者数】Zoom開催 令和8年3月24日(火)17:45～18:45 474名(録画視聴含む)

3) 国内派遣研修・海外研修

・ 国内派遣研修 実績あり(1件): 東京 2名 384,153円

・ 海外研修 実績なし

4) その他

・生活援助従事者研修:休止中・介護職員初任者研修:応募者数が規定に満たなかったため実施せず

05. 慈啓会養護老人ホーム(定員 80 名)

(令和7年度事業報告書)

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者	
		最低	68	最高	94	平均	74.8	入所	退所	慈啓会	その他
男	15	最低	68	最高	94	平均	74.8	2	4	7	12
女	60	最低	76	最高	102	平均	89.5	7	10	6	16
計	75					平均	86.3	9	14	13	28

・在籍率 99.1%(毎月 1 日現在在籍数) ・利用率 98.4%(在籍延日数)

(2) 防災訓練実施状況

- ・夜間想定避難訓練 R8/1/22(旭ヶ丘 4 施設合同)、R8/2/20(養護単独、防災協会立会い)
- ・土砂災害想定訓練 R8/3/23

(3) 行事・クラブ実施状況

- ・定例 歌クラブ、すこやか体操、誕生会、園内喫茶、防災訓練、折り紙教室
懇談会は各階毎に実施し、月行事の確認や感染予防その他注意喚起、誕生者のお祝いの実施
- ・季節行事 お花見バスレク(5 月) 買い物バスレク(5 月、11 月)養護夏祭り、ゲーム大会、盆踊り大会、敬老祝賀会、クリスマス会、年越し会、書初め、新年会、獅子舞、宝引き、節分豆まき

(4) 給食実施状況

- ・健康維持のため、衛生管理、栄養管理に努め、安心安全な給食提供に努めた。
- ・給食食料費と行事食の予算を組み合わせ行事食を工夫し、変化のある食事作りに努めた。
- ・非常用保存食の入れ替えは、可能な限り加工しなくても食べられる食品、入居者が食べやすい食品を選択した。

(5) 保健衛生実施状況

- ・内科と精神科の定期診察に加え、外部の整形外科及び歯科の往診を継続した。
- ・心身の状況把握のため、年 1 回の脳検診で長谷川式簡易知能評価スケールを継続した。
- ・インフルエンザ予防接種を実施し感染拡大に努めた。

(6) 職員研修実施状況

- ・法令に則った事故防止等必要な施設内研修の実施と、法人研修、外部研修へそれぞれ参加した。

(7) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

- ・R7.6 厨房エアコン設置工事 ¥1,702,800・R7.10 スプリンクラーポンプ補修工事 ¥440,000
- ・R7.11 駐車場外灯 LED 化工事 ¥284,900・トイレフラッシュバルブ修理 ¥115,500
- ・R7.5 昭和真空ヒーター修理 ¥305,800・R7.6 冷蔵ショーケース ¥177,100・デスクトップ PC ¥160,600
- ・R7.7PHS ¥281,600・R7.10 ボイラーバルブ交換 ¥521,400・R7.10 暖房補給水漏水修理 ¥1,100,000

(8) 主要委員会

- ・事故防止・感染対策委員会(各 12 回)、身体拘束適正化・虐待防止検討委員会(各 4 回)、行事委員会(12 回)、広報誌(2 回発行)

(9) 事故発生状況

- ・事故報告(転倒 10 件、誤薬 2 件)12 件、ヒヤリハット(転倒、尻もち 69 件、その他 3 件)72 件

(10) 苦情の状況等

- ・なし

(11) 数値目標に対しての結果について

- ・毎月一日の在籍 80 名確保は年度内通して 7 ヶ月の達成となったが、12 月から新規入所希望者がおらず、1 月より大きく定員割れとなっている。4 月より待機者確保の為、地域包括支援センター、病院、老人福祉センター、サービス付き高齢者住宅など 71 か所に施設パンフレットを持って営業。市営住宅等へ入所募集のポスティング 743 戸、道内市町村役場等へのパンフレット送付 90 か所、ふれあいの郷と合同で市内行政相談窓口へのパンフレット送付 94 か所を行っているが、待機者確保にはならなかった。
- ・特定利用者の入院や退所が多く、新たに要介護認定申請し特定追加するまでにタイムラグが出てしまい目標の 3,600 万円は達成できなかった。元々介護サービスを利用されていた新規入所者の外部サービス利用継続のニーズや既存入所者のリハビリを目的とした外部サービス利用ニーズも増えている事も要因としてあげられる。

06 慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム(定員100名)

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢						年度内入退所		年度内入院者	
		(年度末現在)						入所	退所	慈啓会	その他
男	16	最低	74	最高	95	平均	83.4	3	3	0	9
女	83	最低	71	最高	100	平均	86.5	10	11	12	30
計	99					平均	86	13	14	12	39

・平均稼働率 100%(毎月1日現在在籍数) 95.62%(1年間の現在数(入院者を除く)÷(定員×365日))

(2) 防災訓練実施 ①7月30日 ②10月28日(夜間想定火災訓練) ③2月10日(水害想定訓練) ④3月10日(日中地震想定)

(3) 行事・クラブの実施状況

- ・行 事: 園内喫茶(5回)、上映会(2回)、合同夏祭り、敬老会(式典)、創立記念食事会・コンサート
ふれあい神社・節分甘酒会、ひなまつり会、サツドラ買い物デー、誕生会(毎月)、年忘れ会
新年会、土用の丑の日。
- ・クラブ活動: ゲートボール(火曜)、書道(水曜)、カラオケ(第1・3金曜)、転倒予防(第2・4金曜)
- ・園芸(花・野菜作り) 5月～10月までの期間 9名

(4) 処遇

- ・入所者が生活の中心にいるよう、処遇計画及び特定施設にケアプランを用いて会議を実施し検討を重ね生活の支援ができた。また、体力向上や、身体状況から適切な動作が行えるよう課題を把握するために、法人施設の専門職(PT)の協力により、身体状況や環境整備に留意したケアを行うことができた。

(5) 給食の実施状況

- ・入居者様の身体状況や嗜好に応じて迅速に食事提供することが出来た。
- ・入居者の満足度向上の為、月に1度のご当地献立など新メニューの導入を試みた。

(6) 保健衛生

- ・年2回の定期健康診断実施、日常の体調変化など嘱託医と報告しあい、早期発見・対応することが出来た。
- ・緊急受診および入院時には速やかな対応とともに、日頃から添書等関係書類実施、地域の医療機関と連携を図れるよう務めた。
- ・家族、身元引受人と連絡を密にし、救急搬送、入院、治療等への同意をスムーズに進める事ができた。
- ・集団感染のリスクや感染予防方法について、繰り返し懇談会等で入居者に説明周知を行った。
- ・発熱やかぜ症状あった場合は、インフル・コロナ抗原検出キットを実施し、陽性が出た場合には施設内の決め事の下、個室対応を行い感染防止対策を行った。
- ・入居者家族、職員、職員家族等の体調不良の情報共有し早期発見に努め、感染者の発生を最小限に抑えた。

(7) 職員研修実施状況

- ・法人研修(12回)・職場内研修(8回)・外部研修(1回)
- 感染症対応力向上研修、養護老人ホーム職員研修会、他

(8) 固定資産取得状況等

- ・厨房他排水管更新、給水管漏水工事、冷凍冷蔵庫、ガス炊飯器、冷蔵ショーケース、ノートPC(2台)、電動ベッド(4台)

(9) 主要委員会

- | | | | | | | | |
|-------|-------------|-------|-----|---------|----|----------|----|
| ・防災 | 3回(避難訓練の反省) | ・給食 | 12回 | ・事故防止対策 | 4回 | ・広報 | 0回 |
| ・行事 | 12回 | ・苦情 | 0回 | ・感染症対策 | 7回 | ・体力向上委員会 | 4回 |
| ・職員会議 | 12回 | ・身体拘束 | 4回 | ・虐待防止 | 4回 | | |

(10) 事故発生状況

- ・転倒57件、無断外出1件、ボヤ1件(内、市への報告7件) ヒヤリハット(誤薬ではないが2件、ふらつき2件)

(11) 苦情の状況等 ・0件

(12) その他

- ① 町内会との交流状況: 町内会との植栽活動 5月上旬 実施
町内会から花苗の提供を受け職員入所者で植栽を実施。
- ② さわらび幼稚園との交流 10月20日お遊戯交流、11月7日お食事交流→中止
- ③ 6月10日札幌市手稲区長保健福祉部見学会及び情報交換会(稲寿園とふれあいの郷2施設合同実施)
- ④ 9月10日札幌市手稲区長他施設紹介・見学(稲寿園とふれあいの郷2施設合同実施)
- ⑤ 社会貢献活動
地域のゴミ拾い活動 屋外活動で5月9日～9月26日の期間で実施。熱中症予防の為気温が高日は中止もしくは短縮するなどした。(計 6回 延参加人数: 入居者 47名・職員 26名)
- ⑥ 6月11日北海道盲導犬協会訪問 盲導犬との交流

【数値目標に対しての結果について】

- ・待機者数目標を常時「15名」以上確保するとしたが、結果として年間平均18.6名と目標は達成できました。なお、実質的待機者数は平均9.2名となった
- ・特定サービス収入を年間平均額「352万円」以上としていたが、3,890千円となり達成した。

07 ふれあいの郷 生活支援ハウス(定員20名)

(1) 利用状況等												
	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院件数		
								入所	退所	慈啓会	その他	
男	0	最低	0	最高	0	平均	0.0	0	0	0	0	
女	20	最低	65	最高	92	平均	80.0	1	1	0	8	
計	20						平均	80.0	1	1	0	8

・平均稼働率 99.58%(毎月1日現在在人数) 88.04%(1年間の現在数(入院者を除く)÷(定員×365日)

(2) 防災訓練4回実施(養護と合同及びシュミレーション)

第1回. 7月30日 第2回. 10月28日(夜間想定検証訓練)

第3回. 2月10日(水害避難訓練) 第4回. 3月10日(日中地震想定)

(3) 行事・クラブの実施状況

- ・懇談会・敬老の日(式典)・法人創立記念(式典、コンサート)
- ・ゲートボール(毎週1回)書道(毎週1回)・転倒予防体操(毎月2回)
- ・食糧品等買い物日(毎週1回)
- ・園内喫茶(5回)・上映会(1回)・節分甘酒会
- ・園芸(花・野菜づくり)活動 3名

季節行事 ・新緑の昼食会・夏祭り昼食会・敬老の日昼食会・法人創立記念昼食会・年越昼食会
・新年昼食会・ひな祭り昼食会

(4) 給食の実施状況

- ・利用者の身体状況に合わせた、季節感のある行事食を提供した。
- ・行事食提供の際、栄養ミニ講和を実施した。(5月)
- ・誕生月の入居者に誕生日お祝膳を提供した。

(5) 保健衛生

年2回健康診断と朝の体調確認を実施し、病気の早期発見、早期治療を心がけ健康維持に努めた。
季節型インフルエンザ予防接種を1回行うほか、新型コロナウイルス対応を行なった。
(外出・面会の制限等については、感染状況等に合わせて調整している。)
手指消毒・うがい・状況に応じたマスクの着用等の励行等、感染対策について入居者に発信した。

(6) 職員研修実施状況

法人職員研修 (12回) 内部研修 (8回) 外部研修 (1回)

(7) 固定資産取得状況等

なし

(8) 苦情の状況

懇談会や日常のコミュニケーション等で意見・要望を把握し対応しており、意見箱や苦情委員会に寄せられた苦情等は0件。

(9) その他

社会貢献活動として地域のゴミ拾い活動6回実施
居室20室の窓清掃(7月)、トイレ清掃(2月)

(1)利用状況													
	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者		介護度 (年度末現在)	
		最低	75	最高	92	平均	78.6	入所	退所	慈啓会	その他	男	女
男	7							0	2	2	2	4.06	
女	64	最低	75	最高	103	平均	88.5	32	28	41	13	4.04	
計	71					平均	87.4	32	30	43	15	4.04	

・年間平均稼働率 95.4%(1年間の現在数(入院者・外泊者を除く)÷定員×365日)

(2)防災訓練実施状況

①火災:1月(特養単独)日中想定、1月(3施設合同)夜間想定

②防災:3月(特養単独)地震想定

③感染:7月(特養単独)、10月(2施設合同)

(3)行事・クラブの実施状況

①定例行事 【ご家族参加の行事】 特養祭りは1階および駐車場にて開催(6月21日)。盆踊りは特養1階にて開催(8月6日)。敬老の日式典は特養1階にて開催(9月13日)。

【室内行事】 開設記念日祝、クリスマス会、忘年会、新年会、節分、ひなまつり、100周年記念行事

②レク等 花見、バーベキュー、ハロウィン、茶話会、抹茶の会、歌の会、紙芝居、その他

(4)給食の実施状況

①入所の行事食の提供(敬老式典、おしるこ、クリスマス、忘年会、年末年始、新年会、節分、ひな祭り)

②褥瘡ケアとして補助食品を用意し必要な場合に随時提供

③厨房設備の点検修理(フードプロセッサー、食器洗浄機、食器乾燥機)

④療養食加算の算定

(5)保健衛生

①令和7年度新型コロナウイルス感染症対応 従来型計3回(南3階1回 南4階2回) 計15名の利用者罹患
感染対策の確認・周知と感染拡大予防の取り組みを実施

②各ワクチン接種(従来型入所者) インフルエンザワクチン:計55名 新型コロナワクチン:計43名 带状疱疹ワクチン:計3名

③法定研修(感染関連・BCP) 計3回実施

(6)職員研修実施状況

内部研修:事故防止、感染症対策、虐待防止、排泄ケア、認知症ケア、身体拘束廃止、褥瘡予防、看取り、接遇、認知症、法令遵守
ハラスメント等

外部研修:社会福祉協議会主催(R7年度ニューパワー全体セミナー)、認知症介護実践リーダー研修
浄土宗社会福祉協会施設職員交換研修、全国老施協北海道ブロック大会研究大会、
北海道社会福祉法人経営青年会 等

(7)固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

エアコン設置(8月):南館4階 食堂・デイルーム 4台

(8)主要委員会の実施状況

(定例開催) 所属長会議、事故防止、感染症対策、身体拘束廃止、虐待防止、給食、褥瘡予防、ケア向上、
看取りケア、生産性向上、認知症、企画、入所検討、他

(9)事故発生状況 (ユニット型・従来型合計)

転 倒		転 落		ずり落ち		外 傷		誤 嚥		異 食	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
59	10	14	5	22	14	9	2	0	0	0	1
離棟離設無断外出		熱傷・凍傷		暴力・暴言		誤薬		その他		合 計	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
1	0	1	0	0	0	9	3	5	11	120	46

A=アクシデント I=インシデント

札幌市報告対象の事故

ユニット型	6
従来型	10

(10)苦情の状況等
0件

(11)その他

①ボランティア 紙芝居・手品・歌の披露/車椅子清掃・洗濯ものたたみ等の軽作業(1団体2個人)

②世代間交流 啓明ともいき保育園の児童による施設訪問(2回)・旭丘高校合唱部による合唱(1回)

③見学 新型コロナ感染症対策を実施しつつ、受け入れを継続した

④実習・体験学習 養成校の実習生については、入所、通所どちらの受入れも可能(感染対策を継続しながら)とし、計6校15名の実習生を受け入れた。

⑤木洩れびの家 地域の住民や団体、施設サービス利用者の交流や散歩途中の憩いの場所等を目的とした活動

【木洩れびの家利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者	16	15	29	22	9	6	11	7	9	10	9	8	151
家族	8	3	7	5	7	6	6	4	8	6	7	7	74
職員	0	5	3	3	0	1	3	3	1	2	0	1	22
実習生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一 般	31	19	33	26	13	21	28	13	8	18	14	26	250
合 計	55	42	72	56	29	34	48	27	26	36	30	42	497

(12)数値目標

(目標)稼働率:97.0% → (実績)稼働率:95.4% = 稼働率:-1.6%【未達成】

10.慈啓会短期入所生活介護事業所(ユニット型:定員10名)

(1)利用状況等

	利用のべ人数	利用のべ日数	平均利用日数	利用者介護度								申請中等	計
				支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5			
男	87	679	7.80	1	0	26	46	8	2	4	0	0	87
女	331	2,319	7.01	0	1	101	37	77	84	31	0	0	331
計	418	2,998	7.17	1	1	127	83	85	86	35	0	0	418

・年間平均稼働率:82.2%(1年間の延利用数÷定員10名×365日)

(2)食事数及び送迎状況

送迎回数			食事数			
迎え	送り	合計	朝食	昼食	夕食	合計
445	445	890	2,450	2,900	2,484	7,834

(3)防災訓練実施状況

- ①火災:1月(特養単独)日中想定、1月(3施設合同)夜間想定
- ②防災:3月(特養単独)地震想定
- ③感染:7月(特養単独)、10月(2施設合同)

(4)行事・クラブの実施状況

- ①定例行事 【ご家族参加の行事】 特養祭りは1階および駐車場にて開催(6月21日)。盆踊りは特養1階にて開催(8月6日)。敬老の日式典は特養1階にて開催(9月13日)。
【室内行事】 開設記念日祝、クリスマス会、忘年会、新年会、節分、ひなまつり、100周年記念行事
- ②レク々花見、バーベキュー、ハロウィン、茶話会、抹茶の会、歌の会、紙芝居、その他

(5)給食の実施状況

- ① 入所同様、行事食の提供(敬老式典、おしるこ、クリスマス、忘年会、年末年始、新年会、節分、ひな祭り)、おやつレクの実施
- ② 療養食加算の算定
- ③ 厨房設備の点検修理(フードプロセッサー、食器洗浄機、食器乾燥機)

(6)保健衛生

- ① 令和7年度 新型コロナウイルス感染症対応 SS1回 計9名の罹患あり(入院2名、帰宅4名、フロア療養3名) 感染対策の確認・周知と感染拡大予防の取り組みを実施
- ② 法定研修(感染関連・BCP) 計3回実施

(7)職員研修実施状況

- 内部研修:事故防止、感染症対策、虐待防止、排泄ケア、認知症ケア、身体拘束廃止、褥瘡予防、看取り、接遇、認知症、法令遵守、ハラスメント等
- 外部研修:社会福祉協議会主催(R7年度ニューパワー全体セミナー)、認知症介護実践リーダー研修
浄土宗社会福祉協議会施設職員交換研修、全国老協北海道ブロック大会研究大会、北海道社会福祉法人経営青年会 等

(8)固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

エアコン設置(8月):本館2Cユニット10台

(9)各委員会等の実施状況

- (定例開催) 所属長会議、事故防止、感染症対策、身体拘束廃止、虐待防止、給食、褥瘡予防、ケア向上、看取りケア、生産性向上、認知症、企画、入所検討、他

(10)事故発生状況

転倒	転落	すり落ち	外傷	誤嚥	異食
A I	A I	A I	A I	A I	A I
12	0	0	0	0	0
無断外出	凍傷	暴力	誤薬	その他	合計
A I	A I	A I	A I	A I	A I
0	0	0	0	0	12

A=アクシデント I=インシデント

札幌市報告対象の事故

短期	3
----	---

(11)苦情の状況

1件(R7.10.29発生)

(12)数値目標

(目標)稼働率:80.0% → (実績)稼働率:82.1% = +2.1%【達成】

11.慈啓会デイサービスセンター(一般型)

〔1〕利用状況(令和7年度)

	要支援		要介護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
実人員	17	18	52	20	6	6	2	121
延利用数	483	1382	3941	1709	704	563	76	8,858

〔2〕年度内新規・廃止者

	合計
新規利用者	40
廃止利用者	36

〔3〕年齢(令和8年3月末現在)

	在籍	最低	最高	平均
男	30	68	96	82
女	91	61	98	79
合計	121			80

〔4〕稼働率

	平均／定員	稼働率
一般型	28.7人／35名	82.1%

新規内訳	
慈・居宅	10
2包	5
3包	8
他事	17

廃止内訳	
施設入所	15
入院継続により打ち切り	13
逝去	7
転居	0
他サービス利用	0
その他	1

〔5〕苦情数・事故数

苦情数 : 0 件

事故数 : 8 件

転倒:4件、入浴時:1件

車両内転倒、車両入口にぶつける:3件

〔6〕行事の実施状況

誕生会(毎月1週間)・温泉の日(毎月第4週目の1週間)

- ・5月 お花見
- ・6月 スイーツレク
- ・7月 夏祭り
- ・9月 敬老週間
- ・10月 紅葉外出
- ・12月 クリスマス会
- ・1月 新年会、初詣
- ・3月 ホテルスイーツ

<毎月>

- ・月替わり体操&ゲーム(毎日)

〔7〕行事食の実施状況

・誕生会食・夏祭り・敬老会食・クリスマス会食・新年会(鍋)、節分食、ひな祭り食、開設記念食

〔8〕実習生受け入れ状況

・介護福祉士等実習生:0名 / 介護等体験職場実習:1名

〔9〕数値目標

(目標) 稼働率:82.9% → (実績)稼働率:82.1% = 上半期6か月平均では達成できたものの、

下半期達成は3月のみで結果的に全体目標未達成。

〔10〕固定資産取得状況等

新規取得はなし

12. 慈啓会訪問介護

令和7年度

1. ホームヘルパー数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤ヘルパー	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3
登録ヘルパー	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
合 計	8	9	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7

2. 利用人員と要介護度別利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	平均実人員
	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数
要支援 1	26	27	27	30	30	32	30	31	29	31	30	30	29
	84	103	95	116	107	116	119	107	109	105	108	114	1,283
要支援 2	30	31	30	28	28	30	31	31	33	34	35	37	32
	124	141	121	133	114	133	145	131	152	159	158	173	1,684
要介護 1	16	17	16	15	14	15	14	12	11	12	14	13	14
	75	78	75	81	68	80	67	47	45	43	60	60	779
要介護 2	3	3	3	2	4	3	4	3	4	4	4	3	3
	24	25	25	22	31	35	39	27	33	28	29	22	340
要介護 3	3	3	3	3	2	1	1	2	2	3	3	3	2
	20	21	18	18	7	4	5	5	8	7	10	10	133
要介護 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	9	9	8	10	8	8	4	8	8	8	8	9	97
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	79	82	80	79	79	82	81	80	80	85	87	87	82
	336	377	342	380	335	376	379	325	355	350	373	388	4,316

3. 派遣内容別件数（延件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均件数
総合事業相当型	208	244	217	249	223	249	273	245	265	268	274	287	250
身体介護	8	10	8	10	7	8	10	8	8	7	14	16	10
生活援助	37	34	30	29	24	27	20	16	22	21	21	22	25
身体生活	82	86	84	88	79	88	96	68	69	63	69	63	78
合 計	335	374	339	376	333	372	399	337	364	359	378	388	363

4. 研修・会議等の実施

・月1回の定例スタッフミーティング、研修等実施状況

	内部研修	主な外部研修
4月	今年度の研修について	法人の仕組みと概要
5月	介護現場におけるパワハラ・セクハラ	メンタルヘルスとリフレーミング（物事の見方を変える）
6月	ポジショニングの基本	身体拘束・虐待・行動制限について
7月	体位別ポジショニングのコツ	カスタマーハラスメントについて
8月	状態別ポジショニングのコツ	褥瘡ケアについて
9月	介護レクリエーション	BCP研修～実践編～
10月	レクリエーションが精神面に及ぼすメリット	感染予防について
11月	肩と腰のセルフケア	安全運転講習～事故防止の考え方～
12月	介護職の為のメンタルヘルスケア	人事考課について
1月	自立を促す環境づくり	認知症ケア研修～パーソン・センタード・ケアについて
2月	BCP策定と研修訓練のポイント	介護事故とその予防について
3月	1年間を振り返る	事故検証報告および今後の安全管理体制について

・自己研鑽のための研修参加 : DM-study研修参加

5. 数値目標

（目標） 利用者実績の月平均人数 : 83人 → （実績）月平均: 82.0人 = 【未達成】
 利用者実績月間総合計 : 380件 → （実績）月363件 = 【未達成】

13. 慈啓会介護総合相談センター

(1)ケアプラン作成者件数

年間平均
130.3人

(令和8年3月末日現在)

(2)契約者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者	2	5	5	6	5	8	3	2	3	6	2	9	56
解約者	5	0	1	1	1	0	0	4	3	1	2	6	24
内 訳	死 亡	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	6
	入 院	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	入 所	2	0	1	0	0	0	0	2	2	0	1	11
	転 居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	変 更	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	包括移行	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	小多機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登録整理	0	0	0	0	0	155	0	0	0	0	0	155
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
契約者合計	276	281	285	290	294	139	142	140	138	143	143	146	

(3)ケアプラン作成者 (利用票・提供票作成者)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要 介 護 1	69	73	79	77	72	77	79	75	71	75	66	72	885
要 介 護 2	41	39	37	41	39	41	39	37	37	32	34	39	456
要 介 護 3	9	12	13	12	9	8	8	6	11	8	9	8	113
要 介 護 4	9	6	8	8	9	8	8	6	7	7	7	9	92
要 介 護 5	1	1	1	1	1	0	0	2	1	2	5	3	18
合 計	129	131	138	139	130	134	134	126	127	124	121	131	1,564
月平均	130.3												

(4)要介護認定申請代行

新規申請	更新申請
0	61

(5)相談経路

電話(夜間・祝日)	来 所	訪 問	合 計
379 (53)	24	1,590	1,993

(6)活動状況

①情報伝達会議

会議	47
----	----

②サービス担当者会議

143

(7)固定資産取得状況
新規取得はなし

14.介護予防センター旭ヶ丘

(1)総合相談支援業務

【総合相談】

①相談件数

電話	訪問	面談	その他	計
20	0	11	0	31

②相談内容(重複あり)

介護保険制度	介護予防	保健福祉サービス	高齢者虐待	消費者被害	権利擁護	認知症	心身の健康	家族の疾病
2	20	2	0	0	0	1	5	3

医療	住まい	その他
2	1	1

③相談結果

継続支援へ	介護予防教室参加	地域介護予防活動参加	介護保険申請	包括紹介	関係機関紹介	終結
2	0	1	0	3	3	22

【地域ケア体制の構築】

地区地域ケア会議(運営主体)	1回
区地域ケア推進会議(運営主体)	1回
地区連絡会議(運営主体)	12回
区連絡会議(運営主体)	11回
専門職との連携	11回
医療機関との連携	11回
地区組織との連携	66回
その他関係機関との連携(中央区介護予防C連絡会含む)	24回
生活コーディネーターとの連携	1回

(2)介護予防普及啓発業務

①事業別実施件数

介護予防教室	研修会	相談会	広報物の発行	文書や通信での支援	計	参加者延数
98	1	0	7	0	106	3161

(3)地域介護予防活動支援業務

①介護予防に資する地域活動組織の育成及び支援

民児協	福まち	町内会組織	老人クラブ	サロン	自主グループ	その他	計	参加者延数
0	1	2	24	3	84	0	111	1279

(4)自主活動化支援事業

開催回数	参加者数	内容
3	10	サポーター養成講座

(5)専門職と連携した介護予防機能強化業務

新規立ち上げ支援箇所数	既存団体支援箇所数
1	8

(6)数値目標

(目標)委託契約書に記載の事業実施回数目安の達成

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| ①介護予防教室/地域活動組織の育成及び支援 | (目標)90回/必要時支援→(実績)226回=達成 |
| ②自主活動化支援事業 | (目標)4回→(実績)4回=達成 |
| ③地区地域ケア会議 | (目標)1回→(実績)1回=達成 |
| ④専門職との連携 | (目標)必要時→(実績)25回=達成 |

(6)その他

- ・研修会
 - ・市内介護予防センターとの学習会 回
 - ・専門職との研修会 (リハ2回 栄養1回 口腔1回)
 - ・民児協定例会 1回
 - ・町内会長定例会 1回

15.札幌市稲寿園 特別養護老人ホーム(定員100名)

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者		介護度 (年度末現在)	
		最低	74	最高	91	平均	84.7	入所	退所	慈啓会	その他	男	3.50
男	10	最低	74	最高	91	平均	84.7	6	8	5	8	男	3.50
女	90	最低	54	最高	102	平均	88.4	32	30	32	38	女	4.07
計	100					平均	88.0	38	38	37	46	平均	4.02

・平均稼働率 95.8 % (R6年度 94.9%)

- ・令和7年度の平均稼働率は95.8%となり、前年度を0.9ポイント上回ったものの、目標稼働率97.0%に対しては1.2ポイント下回る結果となった。
- ・今年度は、11月および3月にインフルエンザや新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生し、入院者数が平均5.5人/日まで増加したことにより、稼働率が95%を下回る月が5か月となった。
- ・6月、7月、10月は目標稼働率97.0%を上回ることができたが、下半期は入院者の増加等により平均稼働率が95%程度にとどまり、年度末にかけても入院者が増加傾向となったことから、年度全体では目標達成には至らなかった。

(2) 防災訓練実施状況

12月2日(防災訓練・夜間想定、地震災害)、3月5日(自衛消防訓練、水害災害)

(3) 行事・クラブの実施状況

○全体行事

7/13夏祭り、9/12敬老行事、9/15手稲神社例大祭、10/3・11/21・2/2さわらび幼稚園(慰問)、12/22クリスマス、12/26もちつき、1/7獅子舞、2/3節分、2/4不在者投票、3/3ひな祭りを開催。

○ユニット行事

- ・お茶会では、四季に応じてホール全体に季節感のある飾り付けを行い、入居者に季節を感じていただきながら、スイーツを楽しんでいただいた。
- ・誕生会では、誕生日を迎えた入居者にケーキを提供し、嚥下状態に応じてプリン等の食べやすいものに変更するなど個別に対応した。また、お祝いの記念として写真撮影を行った。

(4) 給食の実施状況

- ・昼食時のミールラウンドを実施するとともに、介護職員から入居者の状況を聞き取り、食事摂取量や摂取状況の把握に努めた。食形態の変更が必要と判断される場合には、速やかに多職種で協議し、適切な調整を行った。
- ・感染症によるクラスター発生時には、速やかに感染対応を行い、感染拡大防止に努めた。
- ・給食については、大きな苦情等なく安全に提供することができた。一方で、インシデント・アクシデント報告件数が増加していることから、給食受託会社との情報共有および連携を強化し、再発防止に努めていく。

(5) 保健衛生

- ・体調不良者への迅速な対応が求められる中、往診医の変更により、協力医療機関との連携に課題が生じる場面があった。そのため、協力病院と改めて対応方法を確認し、医師不在時の対応や病院との連絡体制について整理することで、円滑な受診・入院につながれるよう努めた。
- ・ワクチン定期接種および健康診断については、感染症の影響により予定日程に変更が生じたものの、関係機関と調整を行い、実施することができた。

(6) 機能訓練

ICTの導入により、他部署との情報共有が円滑となり、より迅速な対応につながっている。入居者の体調変化に伴いADLに変化が見られるケースもあったが、介護職員との連携によりADLが維持されているケースも多い。今後も多職種連携を図りながら、入居者のADL維持に努めていく。

(7) 職員研修実施状況

令和7年度は、職員の資質向上およびサービスの質の向上を目的として、5月22日にメンタルヘルス研修、6月1日に感染対策向上研修、6月20日に食中毒研修、6月25日に虐待研修、7月16日に組織論研修、8月5日に事故防止・身体拘束・虐待研修、8月20日に褥瘡研修、8月29日に認知症研修、9月26日に接遇研修、9月29日にBCP研修、10月29日に感染症研修、11月27日に安全研修、1月28日に認知症ケア研修、2月17日にコンプライアンス研修、2月26日に事故防止研修、3月4日に身体拘束・高齢者虐待研修、3月24日に権利擁護研修、3月25日に介護事故防止のためのリスクマネジメント研修を実施した。各研修を通じて、職員一人ひとりの専門性と倫理意識の向上を図り、入居者が安心して生活できる支援体制の強化に努めた。

(8) 委員会等の開催

各部署においては、毎日のミーティングや情報共有会議を通じて、入居者の状況や業務上の課題について随時共有を行った。また、行事・給食委員会、衛生・感染対策防止委員会、身体拘束廃止・虐待防止・事故防止委員会、防災・広報・研修委員会、生産性向上委員会、接遇委員会、認知症ケア向上委員会、食事口腔ケア委員会、入所検討委員会等の各委員会を開催し、サービスの質の向上および施設運営上の課題改善に取り組んだ。さらに、定期および臨時のカンファレンスを開催し、多職種間で情報共有と検討を行い、入居者一人ひとりの状態に応じた支援につなげた。

○定期開催委員会(毎月・隔月)

情報共有会議(1回/月)、各委員会(1回/月)、カンファレンス(プラン更新時、不定期開催は随時)

※コロナ・インフルエンザ感染発生が出た際は臨時で感染対策委員会を開催

(9) 固定資産取得状況等

- ・固定資産取得・・・プロジェクター、ロボクープブリクサー3D
- ・修繕・・・廊下照明器具交換、入浴ストレッチャー修理、水抜き栓交換、排水管つまり修理、洗面台混合栓交換、エアコン修理等

(10) 事故発生状況

転倒・転落:120件、皮膚変色、出血:7件、誤薬:9件、異食:7件、誤嚥:0件、他:16件 合計:159件

(11) 苦情の状況等・・・今年度は0件。

(12) その他

- ①ボランティア 個人:裁縫、見守り、お茶出し、湯飲み洗い、タオルセット、洗濯たたみ、麻雀
団体:ウクレレ(3名)、ウクレレ・太鼓・ギター・歌(10名)、オカリナ・コーラス(5名)、歌・ギター(5名)

- ②交流 さわらび幼稚園訪問交流

- ③実習・体験学習 特養・デイサービス せいとく介護こども福祉専門学校1名

(13) 数値目標 (目標)(目標)稼働率 97.0%、→ (実績)稼働率 95.8% = 稼働率 + 1.2% 未達成

16.稲寿園短期入所生活介護事業所(定員10名)

(1)利用状況等

	利 用 総人数	利 用 総日数	平 均 利用日数	利 用 者 介 護 度								送迎 回数	食 事 数		
				支1	支2	1	2	3	4	5	計		朝食	昼食	夕食
男	71	318	4.47	1	0	35	7	26	2	0	71	433	2,874	3,146	2,880
女	179	2,354	13.15	0	1	64	24	29	51	10	179				
計	250	2,672	10.69	1	1	99	31	55	53	10	250				

・月平均稼働率 86.2% (R6年度 81.5%)

令和7年度は、11月には2階フロアにてインフルエンザ、3月には1階フロアにて新型コロナウイルスによるクラスターが発生したことで、稼働率に一時的な影響を及ぼした。1月のみ年末年始の利用率が著しく低く、稼働目標の80%に満たない状況であったが、残りの11ヶ月間は80%以上の稼働を達成し、3ヶ月間は90%以上の高稼働を達成した。最高稼働値は4月の92.7%であった。年間の平均稼働率は86.2%と目標値(4～9月まで78%、10～3月まで80%)を6.2%(目標値80%として)と大幅に上回ることができた。
ロングショート候補を常に意識し、受け入れ(6件の新規受け入れ実績)が出来たことや、利用予定日を3ヶ月先まで計画的に入れ、事前にCMへ打診する方法や空床についてのアナウンスをこまめに続けることで、隙間のない居室運用を行うことで稼働率は前年よりもさらに向上したと考えられる。

- (2)防災訓練実施状況 特別養護老人ホームと一体的に実施した。
- (3)行事・クラブの実施状況 特別養護老人ホームと一体的に実施した。
- (4)給食の実施状況 給食の提供については、特別養護老人ホームと同様の体制により実施した。
- (5)保健衛生 保健衛生に関する対応は、特別養護老人ホームと連携し、感染症対策および健康管理を実施した。
- (6)職員研修実施状況 特別養護老人ホームと一体的に実施した。
- (7)固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)
なし
- (8)事故発生状況
転倒・転落 20件、アザ・出血0件、誤薬0件、異食0件、誤嚥・誤飲0件、その他4件 計24件
札幌市報告件数:2件
- (9)苦情の状況等
0件
- (10)その他 ボランティア、交流、実習等については、特別養護老人ホームと連携して対応した。
- (11)数値目標
(目標)稼働率 78 % → (実績) 86.2%
= 8.20% 達成

17.稲寿園デイサービスセンター(定員32名)

(1)利用状況等

	登録数	実利用数	介護	予防	新規	廃止
年間延べ		1,198	907	375	43	40
月平均	106.8	99.8	75.6	31.3	3.6	3.3

・月平均稼働率 82.27% (R5年度 81.14%、R6年度 82.24%)

今年度の平均稼働率は82.27%となり、目標稼働率を達成することができた。昨年度の82.24%をわずかに上回る結果となり、年間を通して安定した稼働を維持できたことは、日々の営業活動に加え、利用者・家族、ケアマネジャーとの信頼関係づくりを継続してきた成果であると考えられる。

一方で、1月から3月にかけては、稼働率が目標を下回る月が続いた。新型コロナウイルス感染症の拡大や入院、天候・道路状況による利用控え等の影響が大きく、体験利用や新規利用者の獲得、振替利用、利用回数の増回提案などに取り組んだものの、休止・終了分を十分に補うまでには至らなかった。今後は、冬期間や感染症流行時における稼働率維持に向けた取り組みを課題として整理していく必要がある。

(2) サービス質と稼働率の向上 …… アンケート結果では、総合満足度について91.0%の利用者が「満足」「大変満足」と回答した。昨年度から開始した選択レクリエーションについても継続して実施し、内容のバリエーションを増やしたことで、利用者の自己選択・自己決定の機会が広がり、満足の声も多く聞かれた。
また、職員一人ひとりが満足度の向上を意識したサービス提供に努めるとともに、居宅介護支援事業所への営業活動も継続して行った。その結果、今年度の平均稼働率は82.27%となり、年度目標の達成につながった。

(3) 防災訓練実施状況 …… 特別養護老人ホームと合同で実施した。

(4) 職員研修実施状況 …… 法人および施設内研修に参加し、感染症対策、事故防止、虐待防止、認知症ケア等に関する理解を深めた。

(5) 主要行事 …… 年間行事として、4月に喫茶茶話会、5月にお花見、6月に夏祭り、7月に外食・おやつドライブ、8月に茶話会、9月に敬老会、10月に秋の味覚祭、11月に出張寿司、12月にクリスマス会・忘年会・餅つきレク、1月に新年会、2月に節分、3月にひな祭りを実施した。
また、各月のレクリエーションとして、誕生会、手工芸レク、お風呂週間、ゲーム大会のほか、職員企画によるレクリエーションを実施し、利用者に季節感や楽しさを感じていただける機会を提供した。

(6) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)
なし

(7) 苦情の状況等
0件

(8) 数値目標
(目標) 稼働率 81.25%(26.0人) → (実績) 82.27%

18.稲寿園訪問介護

(1) 月別派遣状況等(前年度比較)

【説明】

派遣回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	471.0	490.3	461.5	491.0	455.0	480.0	521.0	458.0	478.5	428.0	451.0	506.0	5,691
令和6年度	527	551	488	532	474	431	467	417	377	390	382	439	5,475
増減	-56	-61	-27	-41	-19	49	54	41	102	38	69	67	216

派遣時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	486	336	478	474	493	388	548	433	466	400	425	496	5423
令和6年度	296	322	302	322	324	289	386	242	211	209	201	241	3346
増減	190	14	176	153	169	99	162	191	255	191	224	255	2077

(2) 介護度別利用者状況

令和7年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援	1	12	11	11	10	10	10	12	15	15	16	16	13	151
	2	31	30	29	30	32	32	32	31	32	31	31	31	372
要支援計		43	41	40	40	42	42	44	46	47	47	47	44	523
要介護	1	27	27	28	25	25	25	26	28	28	28	27	32	326
	2	8	7	7	5	5	5	6	6	6	6	6	6	73
	3	4	4	4	6	5	5	6	4	4	4	4	3	53
	4	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	16
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護計		40	39	40	38	37	37	40	39	39	39	38	42	468
合 計		83	80	80	78	79	79	84	85	86	86	85	86	991

(3) 職員研修・カンファレンス状況

- ① 定期研修 : 毎月1回実施
- ② カンファレンス : 毎月1回実施
- ③ 個別研修 : 年間を通して1回以上

(4) 数値目標

月の目標派遣回数 420回以上、月の登録件数70件 →(実績)派遣回数 474回、登録件数 83件

19.稲寿園介護総合相談センター

(1) 相談対応方法

【説明】年間通じて人員体制に変更なく運営できた。令和8年度も安定運営を目指していく。

(単位:人)

令和 07 年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
内 訳	訪問	176	195	196	206	201	208	201	173	200	188	191	214	2,349
	来所	0	1	4	1	0	0	1	2	1	1	2	0	13
	電話	109	122	102	107	76	119	131	91	105	126	94	100	1,282
合 計		285	318	302	314	277	327	333	266	306	315	287	314	3,644

(2) 契約者推移

【説明】令和5年6年と解約者は月4.42が令和7年は月3.42と少なく、令和6年の新規契約者数月4.08から令和7年は月6.25と大きく上回った。

(単位:人)

令和 07 年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
新 規 契 約 者		11	7	5	5	9	4	3	5	4	6	6	10	75
解 約 者		0	2	1	2	3	1	7	4	5	5	4	7	41
内 訳	死 亡	0	0	0	0	1	0	3	2	1	1	0	3	11
	長期入院	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	2	1	8
	入 所	0	1	0	1	0	0	1	2	2	2	1	2	12
	転 居	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
	事業所変更	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
	包括移行	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	小規模多機能	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
	その他	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
契 約 者 合 計		210	215	219	222	228	231	227	228	227	228	230	233	

(3) 相談経緯・件数

【説明】再委託受け入れを再開し手稲1包からの相談あり。手稲2包からの相談は毎月複数件数いただいている。

(単位:人)

令和 07 年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
手稲区第1包括		4	0	4	0	0	2	2	0	1	1	3	5	22
手稲区第2包括		4	3	5	5	6	2	2	6	4	6	7	5	55
中央区第2包括		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中央区第3包括		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本人・家族		0	1	0	2	1	2	0	1	2	1	0	1	11
病院		1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	5
他事業所		1	2	2	0	1	0	0	1	1	0	1	0	9
合 計		10	6	11	7	8	7	4	9	8	9	11	12	102

(4) 月別利用者数

【説明】職員全員が新規相談に対応できており、担当件数は順調に増えている。4月5月は定量目標に到達しなかったが、6月以降は定量目標を達成できている。

(単位:人)

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援1	R07年度	11	11	11	11	13	8	8	9	11	12	10	10	125
	R06年度	7	7	7	8	7	7	8	8	9	9	8	8	93
要支援2	R07年度	19	20	20	19	19	23	21	20	20	18	15	17	231
	R06年度	12	12	13	12	13	14	13	15	15	16	16	16	167
要介護1	R07年度	75	79	81	81	84	87	89	91	93	95	100	100	1,055
	R06年度	70	72	75	77	76	75	73	71	72	70	72	73	876
要介護2	R07年度	25	31	32	32	34	36	30	26	25	24	26	24	345
	R06年度	41	39	42	42	41	35	33	31	31	28	25	25	413
要介護3	R07年度	14	12	13	13	12	12	11	9	10	9	10	12	137
	R06年度	14	15	15	15	15	15	19	17	15	14	13	14	181
要介護4	R07年度	7	7	7	8	8	7	8	7	7	6	5	4	81
	R06年度	5	4	2	2	3	4	5	6	8	8	6	6	59
要介護5	R07年度	4	3	4	4	4	4	3	2	2	3	4	5	42
	R06年度	5	5	5	6	4	3	3	3	3	3	3	4	47
合 計	R07年度	155	163	168	168	174	177	170	164	168	167	170	172	2,016
	R06年度	154	154	159	162	159	153	154	151	153	148	143	146	1,836

(5) 研修会等出席状況

他法人主催の研修に参加、他法人との事例検討会を共催、包括の事例検討会に参加、区地域ケア推進会議に出席。

(6) その他

令和07年度特定事業所集中減算は前期・後期指摘事項、減算なし。介護支援専門員実習生2名受け入れ。

20.軽費老人ホームA型札幌市菊寿園（定員50名）

(1)利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者	
		最低	78	最高	91	平均	83.2	入所	退所	慈啓会	その他
男	9	最低	78	最高	91	平均	83.2	4	6	1	5
女	22	最低	73	最高	97	平均	83.2	2	2	1	1
計	31					平均	83.2	6	8	2	6

・平均在籍者数 31.5名 63% 平均介護度 0.57（参考：令和6年度 0.98）

(2)防災訓練実施状況

- ① 7月25日（夜間想定三者合同訓練） ②11月10日（日中想定三者合同訓練） ③ 3月26日（動画視聴による研修）

(3)行事・クラブの実施状況

- ① 定 例：ラジオ体操（午前・午後各1回）、介護予防体操（週1回）、脳トレクラブ（週1回）、すこやか倶楽部（2カ月茶話会（月1回））
 ② 季節行事：5月お花見ドライブ、6月外出レク（観光）・すき焼きの日（個別）、8月夏祭り、9月敬老会・開園記念食（個別）
 10月外出レク（食事）、100周年記念喫茶の日、12月クリスマス会・忘年会、1月新年会・初詣ツアー、
 2月節分豆まき・鍋の日

(4)給食の実施状況

給食時間 朝 7:30～ 昼 12:00～ 夜 17:30～

- ① ごちそうの日、セレクト食、秋・春のバイキング、大晦日・元日食等の実施
 ② ADL低下者に配慮した思いやり対応（時間前の誘導、配下膳の一部介助等）
 ③ 嗜好調査の実施

(5)保健衛生

- ① 嘱託医による定期診察、定期処方及び臨時処方による治療の他、日常の入居者からの健康相談対応
 ② 施設内感染防止対策として、手洗い・うがい励行の啓発、環境の保清化、次亜塩素酸による各居室ドアノブ・手すり等の消毒、手指消毒液を玄関・食堂前に設置、適切な手洗いについて職員・利用者に説明会を実施。
 ③ インフルエンザ予防接種を積極的に行い、うがい・手洗い等で冬期間の風邪予防。
 ④ 月1回の血圧測定、2ヶ月に1回体重測定、年2回健康診断を行い健康保持。
 ⑤ 薬の自己管理が難しい場合、カレンダー薬や配薬で対応。

(6)職員研修実施状況

北海道ブロック研究大会（全軽協）、東海北陸ブロック施設長職員研究会（全軽協）、生活相談員研究会総会・研修会（市老施協）
 養護・軽費老人ホーム職員交流研修会（市老施協）、生活相談員研究会（市老施協）、軽費・ケアハウス研修会（道老施協）
 社会福祉法人経営実践研修（道社協）、救命救急講習会（札幌防火委管理者協会）
 特定給食施設等研修会（市保健福祉局）、施設見学研修会（市老施協）、メンタルヘルス研修（法人研修）
 身体拘束・虐待・行動制限研修（法人研修）、認知症研修（法人研修）、感染症研修（法人研修）、BCP研修（法人研修）
 権利擁護研修（法人研修）、事故の防止について（法人研修）、コンプライアンス研修（法人研修）

(7)固定資産取得状況等

ノートパソコン1台、デスクトップパソコン2台

(8)修繕・大規模改修等

居室クロス・畳張替・1階旧EV機械室床下漏水修理・洗面器排水詰まり修繕・
 2F女子トイレウォシュレット取替・2F栄養室トイレウォシュレット取替・手摺り交換修繕
 2.3階男女便所トイレブース金物修繕工事・洗面自動水栓取替・壁外付け電池タイプ取替

(9)その他

- ① アンケートによる満足度調査の実施
 ② 車椅子無料貸出し（55件）・会議スペース無料貸出し（8件）

21. 軽費老人ホーム B 型 札幌市拓寿園(定員 50 名)

(1)【利用状況】

	在籍者数 (年度末現在)	年齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者	
								入所	退所	慈啓会	その他
男	5	最低	67	最高	81	平均	60.2	1	0	0	1
女	26	最低	69	最高	94	平均	81.9	1	2	0	6
計	31							2	2	0	7

(2)【処遇】

- ・マスクの解禁とともに、施設内外での活動を再開
5月(花見)、6月(歩こう会)、8月(納涼祭)、9月(歩こう会)、10月(演奏会)、11月(社会見学)、12月(忘年会)、1月(演奏会)。地域の行事として、江南神社祭・ふれあい福祉週間行事にも参加
- ・体調不良、認知機能の低下により、一人での生活が難しくなってきた方へ、ご家族と連携してのケアマネの紹介等を行う
- ・入居者アンケートを3月に実施
- ・要支援者の方を中心に個別処遇計画に基づき検討を行いアプローチの必要な方、他事業所との連携の必要な方への関わりを持つようにした
- ・「介護予防教室」・「ふまネット運動」を隔週で実施
- ・「生活学」と題して6月(食中毒)、8月(介護保険)、9月(防災)、2月(終活)、3月(防災)と計5回実施

(3)【健康管理】

- ・定期健康診断を10月・3月に実施
- ・病気の予防や体力の維持を図るための情報を拓寿園だよりに掲載、掲示板にも時期の物を掲示する
- ・食中毒及び感染症対策や事故防止、虐待防止についての委員会運営
- ・毎日の体調確認の居室訪問は、コロナも落ち着いたこともあり、個別訪問は中止。通常の安否確認とした

(4)【防災】

- ・防災教室は生活学として火災と地震の内容で実施
- ・防災用品の確認を行い使用期限の近いものは更新
- ・防災用品の使用方法確認を3月の避難訓練時に行う

(5)【地域との関わり】

- ・施設運営協議会を3月に実施
- ・地域行事への参加及び近隣の学校との交流、他施設間の交流、児童会館との交流については、機会を作ることが出来なかった
- ・地区センターにおいて月に一回介護相談の予定をしていたが、そもそもの地区センターでの相談件数も少なく、また、地域包括職員とも連携をしているとのことで参入できず

(6)【設備管理】

- ・ガス警報器の一部更新、給湯ボイラーの交換(札幌市)等を実施

(7)【職員研修】

- ・異動職員に「ふまネット」運動の講習会の受講し3級指導員の資格を取得
- ・札幌市老人福祉施設協議会主催研修に介護職員の参加
- ・法人研修には後の視聴参加ではあるがほぼ毎回の参加

(8)【その他】

- ・札幌市環境局・ほくでんによる「市有施設コミッシング」の実施

22.慈啓会老人保健施設(入所定員 90名、通所定員 40名)

(1)利用状況等

【施設サービス】

在籍者数 (年度末現在)		年齢(年度末現在)			年度内入退所者		年度内入院者		平均介護度 (年度末現在)	
		最低	最高	平均	入所	退所	慈啓会	その他		
男	16	69	97	86.7	31	31	7	11	男	3.31
女	65	74	101	89.2	77	79	17	18	女	3.25
計	81				108	110	24	29	計	3.27

【短期入所療養介護】

在籍者数 (年度末現在)		年齢(年度内)		利用日数	
		最低	最高	利用人数	53
男	1	59	95	利用日数	845
女	0	75	100	平均日数	15.9
計	3				

【通所リハビリテーション】

年齢(年度末現在)			介護度別 利用回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	最低	最高		支援1	38	34	33	38	35	38	34	33	34	29	25	31	402
男	63	99		支援2	111	122	126	133	113	130	139	126	139	129	139	128	1,535
女	61	99		介護1	162	158	163	174	157	151	154	133	131	125	151	152	1,811
利用回数				介護2	102	97	94	106	84	84	98	81	87	85	87	95	1,100
	人数	回数		介護3	39	39	39	35	26	31	24	27	27	24	23	37	371
男	365	2,451		介護4	42	47	50	58	39	33	40	31	45	27	29	36	477
女	557	3,347		介護5	18	17	13	4	4	3	12	15	4	4	4	4	102
計	922	5,798		計	512	514	518	548	458	470	501	446	467	423	458	483	5,798

(2)防災訓練実施状況

- ①旭ヶ丘地区合同防災訓練:主担当病院
②令和8年3月25日(夜間想定避難訓練)

(3)年間行事・交流会・趣味活動の実施状況

【行事・交流会】誕生会、花壇作り、敬老会、スイカ割、秋祭り、クリスマス会、新年会、豆まき他
【趣味活動】折り紙、はり絵、クイズ、手遊び、体操、ボール遊び、計算、塗り絵、風船バレー、脳トレ、他

(4)委員会及び会議

- ①ケアの質向6回 ②食事11回 ③感染予防6回 ④研修6回 ⑤安全推進11回 ⑥身体拘束4回 ⑦褥瘡予防4回
⑧苦情処理0回⑨衛生会議12回⑩虐待予防4回⑪生活向上12回⑫行事10回⑬フロア会議7回
⑭運営委員会12回 ⑮ICT委員会9回

(5)給食の実施状況

給食時間 朝 8:00 昼 12:00 夕 18:00

- ・保温食器の導入等による適温適時給食の実施
- ・特別食(治療食)の対応
- ・行事食では季節感、食材のバリエーション等、食事による利用者の精神的活性化
- ・個々の身体状況を考慮した食形態や栄養補助食品の工夫等
- ・ミールラウンドの実施

(6)保健衛生

- ・毎食後の口腔ケアを継続・定時の換気の実施
- ・新規入所時や感染症の疑いのある時は個室隔離等の感染対応を行ない、感染と拡大の防止に努めた
- ・手洗いの励行(手洗い困難な利用者はアルコールウェットタオル使用)、手すり(2回/日)・テーブル(3回/日)の消毒
- ・コロナワクチン接種、インフルエンザ予防接種の実施
- ・気温・湿度の管理をしっかりと行い、感冒等の流行の兆しが認められた時は早期対応を行い、罹患者を最小限に抑えた
- ・入所者発熱時は抗原検査実施 有症時は休務で対応

(7)職員研修実施状況

【施設外研修】

北海道看護協会第2支部主催研修会(2名)、認知症介護実施研修(実践者研修2名、実践リーダー研修2名)
感染症対策研修(1名)、介護福祉士実習指導者講習会(2名)、高齢者虐待防止推進研修会(1名)

【施設内研修】

感染症研修(2回)、虐待研修(2回)、権利擁護(1回)、安全・リスク管理研修(2回)、コンプライアンス研修(1回)
メンタルヘルス研修(1回)、管理者研修(2回)、新任役職者、役職者昇任研修(1回)、BCP研修(2回)、
身体拘束(2回)、高齢者理解(2回)、組織研修(1回)、人事考課(1回)、安全運転講習(1回)、
管理者研修(2回)、強化型の理解(1回)

(8)事故発生状況及びゼロレポート

事故報告 : 274件 (転倒 73件、外傷 29件、誤薬 9件、異食 7件、離棟 5件 他151件 内 骨折事故 9件)
ゼロレポート : 101件

(9)苦情の状況等

計 1件

23. 慈啓会病院

1 基本方針

法人理念及び当院の理念に沿い、患者の立場で考える患者中心の病院をめざす。また、職員がお互いを尊重し楽しく働くことのできる病院をめざす。それらによって経営の安定化を図ることをめざす。

【基本方針】

1. 人に勤めたい病院をめざします。
2. 働きがいのある病院をめざします

2 病院経営について

(1) 収入確保

外来収入は、内科・精神外来ともに予算達成とはならなかった。患者数の減少が継続している。施設外来については予算を達成した。

入院収入は目標稼働211床に対して実績204床と達成できず、収入も減少した。入院相談の減少には訪問や電話での営業にて対応するとともに、必要に応じ年3回のリーフレット送付を行った。

・ 外来診療費収入(科別)

種別	2025年度予算		2025年度実績		予実差	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
内科外来	4,440	26,520	3,472	21,685	▲ 968	▲ 4,835
精神科外来	480	1,590	165	934	▲ 315	▲ 656
健診・ドック	3,504	21,300	3,369	20,342	▲ 135	▲ 958
予防接種	1,638	5,901	1,694	7,433	56	1,532
施設外来	17,760	44,436	19,374	56,083	1,614	11,647
その他	734	6,279	1,784	5,681	1,050	▲ 598
合計	28,556	106,026	29,858	112,158	1,302	6,132

・ 入院収入(病棟別)

病棟	2025年度予算		2025年度実績		予実差	
	稼働(床)	金額 (千円)	稼働(床)	金額 (千円)	稼働(床)	金額 (千円)
2F	44.0	424,113	42.4	410,186	▲ 1.6	▲ 13,927
3F	35.0	419,342	33.5	407,490	▲ 1.5	▲ 11,852
4西	42.0	370,786	41.2	360,862	▲ 0.8	▲ 9,924
4東	40.0	271,042	37.5	263,201	▲ 2.5	▲ 7,841
5F	50.0	320,308	49.4	315,137	▲ 0.6	▲ 5,171
過誤査定他	--	▲ 1,200	--	▲ 4,158	--	▲ 2,958
合計	211.0	1,804,391	204.0	1,752,718	▲ 7.0	▲ 51,672

(2) 支出について

人件費については医師及び看護師の充足に至らず対予算1,700万円程の減となった。事業費については医薬品及び消耗品等の値上げにより1,000万円程の増となった。しかし、医薬品を一括購入とすることにより約400万円程費用を抑えることができた。事務費については、対予算32,000万円程の増となった。内訳としては、給食委託費で1,000万円の増、紹介手数料で2,000万円程の経費計上となった。

3 患者等サービスについて

コロナ対応で面会時間や面会人数を制限していたが、一部病棟を除き制限を撤廃した。

4 人材の確保、育成および組織づくり

- (1) BSCコア委員会を設置し、SWOT分析実施後戦略マップを策定し、病院BSCを策定するとともに、部署単位でのBSCを策定、運用開始した。
- (2) E-ラーニングによる研修をさらに進め、医療事故防止や感染対策、褥瘡対策のみならず、医療ガス安全使用委員会や行動制限最小化委員会などの研修も実施するとともに看護教育にも活用している。
- (3) 外国人技能実習生とともに特定技能外国人の受け入れを進め、今年度4名のインドネシア外国人を受け入れた。現在8名の外国人（ベトナム2名、インドネシア6名）を受け入れており、来年度さらに2名の受け入れを行う予定である。

5 設備や医療機器等の整備

事業計画に則り、空調機の全面更新を3期に分けて実施した。また、電動ベッドの入れ替えを補助金を利用し、令和8年度に実施する。

24.認定こども園啓明ともいき保育園

(1) 在籍状況(2.3号児90名定員)(1号児9名定員)

	在籍数	所率 (%)	0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳児以上	1号児
4月	87名	87.8	1名	29名	12名	36名	9名
5月	85名	85.8	1名	27名	12名	36名	9名
6月	86名	86.8	2名	27名	13名	36名	8名
7月	85名	85.8	3名	24名	14名	36名	8名
8月	83名	83.8	6名	23名	14名	35名	5名
9月	85名	85.8	6名	24名	14名	35名	6名
10月	86名	86.8	6名	24名	14名	34名	8名
11月	87名	87.8	7名	24名	14名	34名	8名
12月	89名	89.8	8名	24名	14名	35名	8名
1月	91名	91.9	9名	25名	14名	35名	8名
2月	92名	92.9	9名	26名	14名	35名	8名
3月	92名	92.9	9名	26名	14名	35名	8名

(2) 防災訓練実施状況

- 避難訓練：通報、消火訓練毎月実施、地震(震度5)洪水時の保護者連絡を含む、不審者屋上園庭より侵入実施
- 第1,2避難場所への避難(春、冬)他 1,2,3月は予告なし、冬場停電、土曜体制、園長不在体制実施

(3) 行事の実施状況

- 感染対策を継続しながら、実施

【定例行事】

- 入園お祝い会、誕生会、季節ごとのお楽しみ会(七夕すいか割り)、園医健診、歯科健診

【季節行事】

- 徒歩 バス遠足(弁当屋上園庭にて、カラス、熊対策)、お祭りごっこ(神輿)、運動会、生活発表会、クリスマス会(バイキング)
新年お楽しみ会、節分、おみせやさんごっこ、お別れ会(バイキング)

【その他】

- 保護者出席の個人懇談、参観日実施、観劇(影絵等)交通安全教室は連携保育園と合同
- 慈啓会特養交流は感染予防をし4、5歳児と神輿、劇発表交流、老健デイ交流、4歳児きずなデイ交流
- 年長児(5歳児)の園外活動、防災センター、青少年科学館、AOAO水族館、公共交通機関を利用し実施

(4) 給食の実施状況

- 札幌市の献立を基に園児に提供、アレルギー児は医師の診断を得てアレルギー食提供、卵、小麦、胡麻、乳、鯖
- 給食便り発行。子ども達に人気のあるもの、季節の食材によるメニューの紹介
- 子ども達が意欲的に食に関われるよう、プランターで野菜を育てる(各年齢)、食育は手洗い、スプーン、箸の持ち方、野菜クイズ(とうきびの皮むき等)、年長は、三食食品群、クッキング(アイス作り、ピザ)

(5) 事故発生状況

- 打撲2件、額の腫れ
- 4/18、園外で子どもが発見される事故、保護者説明会5/29、17時から17時30分

(6) 保健衛生

- インフルエンザA、11月から12月園児11名職員2名罹患

(7) 職員研修実施状況

- 園内研修、園外で子どもが発見事故を受けて、不適切保育、人権擁護チェックリスト、保育の振り返り、救急救命実践研修①
- キャリアアップ研修(食育、保護者支援 幼児乳児保育)オンライン、対面受講、幼保小連携研修
- 札幌市幼児教育出張研修、札幌市誤嚥事故予防研修、心肺蘇生法、AED使用、子どもの事故、救急救命講習
- 栄養士研修(母子保健、運動と肥満、食中毒)

25.中央区第2地域包括支援センター・中央区第2介護予防支援事業所

○中央区第2地域包括支援センター

(1)相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	64	67	73	70	64	85	85	45	84	70	70	76	853

(2)給付管理提出数(実利用人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規利用数	24	17	24	25	24	29	20	24	16	17	12	19	251
継続利用数	818	839	831	826	845	847	849	856	858	842	842	844	10,097
合 計	842	856	855	851	869	876	869	880	874	859	854	863	10,348

(3)オレンジ活動報告

	実施回数	実人数	延人数
ステップアップ講座	2	44	44
スマイルオレンジチームの運営	76	168	797
個別のマッチング	19	2	19
様々な形での立ち上げ支援	6	217	217
認知症サポーター等への活動意向確認	2	44	44
合 計	105	475	1121

(4)地域住民・関係機関等への情報提供活動

	研修・講話		チラシ等配布	
	実施回数	対象人数	実施回数	対象人数
介護保険制度	2	42	1	4
高齢者虐待	5	173	0	0
消費者被害	0	0	0	0
権利擁護	1	28	2	14
介護予防・疾病予防(セルフケア)	2	40	1	9
認知症サポーター養成講座	5	212	0	0
認知症高齢者を地域で支える理解啓発	4	78	20	7714
家族介護者支援	1	37	5	197
その他	3	58	9	152
合 計	23	668	38	8090

(5)職員の質の向上に向けた取り組み状況

	回数	人数
外部研修	24	43
内部事例検討会等	31	379

≪全体のまとめ≫

- ・ 介護予防ケアマネジメント・指定介護予防支援事業における利用者数は 10,348件 となり、年度当初に設定した目標(9,960件)を上回った。前年と比較して 338件の増加 が見られた。
- ・ 一方で前年と比較すると、(1)相談件数は 123件減少、(2)利用者数は増加したものの 新規利用者数は 21件減少した。肌感として減少を感じにくかったが、ケースの課題が複雑化しており、1ケースに要する時間と労力が増加していることが要因と考えられる。今後も職員の メンタルヘルスへの配慮が重要である。
- ・ チームオレンジ活動では、担当エリアごとに1か所ずつ拠点を立ち上げ、週2回のペースで活動を展開した。「新しい認知症観」を掲げ、地域への周知に努めたが、当事者や地域住民の参加につながった地域と、そうでない地域の差が明確となった。また、ステップアップ講座では 44名のオレンジサポーターを養成 したものの、拠点活動につながったのは 8名 にとどまり、運営面での課題が残った。
- ・ 外部研修については、事務職員を除く全職員が少なくとも1回以上参加したが、参加回数は昨年度の半分にとどまった。関心のある研修があっても業務の都合で参加が難しい状況が多く見られたため、今年度は内部研修の充実 に注力した。「明日からの業務に直結できる勉強会」をテーマに、毎月の事例検討会に加え、ケアマネジメント、社会資源、認知症ケア、地域アセスメント、高齢者虐待防止、ケアラー支援などについて、外部講師も活用しながら 多くのミニ勉強会を実施 することができた

26.中央区第3地域包括支援センター・中央区第3介護予防支援事業所

○中央区第3地域包括支援センター

(1)相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	102	124	89	91	85	114	83	98	95	88	84	98	1151

(2)給付管理提出数(実利用人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規利用数	30	30	43	29	31	39	48	18	32	20	26	34	380
継続利用数	1037	1057	1052	1062	1057	1049	1074	1101	1074	1083	1075	1083	12,804
合 計	1067	1087	1095	1091	1088	1088	1122	1119	1106	1103	1101	1117	13,184

(3)オレンジ活動報告

	実施回数	実人数	延人数
ステップアップ講座	2	25	25
スマイルオレンジチームの運営	78	123	500
個別のマッチング	2	2	2
様々な形での立ち上げ支援	11	402	402
認知症サポーター等への活動意向確認	2	25	25
合 計	95	577	954

(4)地域住民・関係機関等への情報提供活動

	研修・講話		チラシ等配布	
	実施回数	対象人数	実施回数	対象人数
介護保険制度	7	71	4	18
高齢者虐待	0	0	0	0
消費者被害	0	0	1	55
権利擁護	0	0	0	0
介護予防・疾病予防(セルフケア)	3	65	2	5
認知症サポーター養成講座	5	71	0	0
認知症高齢者を地域で支える理解啓発	0	0	24	6414
家族介護者支援	0	0	2	31
その他	3	95	12	159
合 計	18	302	45	6682

(5)職員の質の向上に向けた取り組み状況

	回数	人数
外部研修	24	43
内部事例検討会等	22	283

《全体のまとめ》

- ・ 介護予防ケアマネジメント・指定介護予防支援事業における利用者数は13,184件で、年度当初に設定した月1,050件の目標は達成。下半期の補正予算で目標を1,090件に修正したが、これも達成。前年度比で668件増加したが、新規は44件増、解約は360件あるもののサービス利用者数(継続利用者数)の増加は継続されている。
- ・ 内部研修は事例検討会10回、BCP机上訓練2回、虐待対策委員会1回、感染症対策委員会1回実施。他に法人職員研修に参加。外部研修は回数・参加人数とも昨年より減少したが、1人1回以上参加し、自己研鑽に努めた。
- ・ 今年度の法人内連携は第2包括支援センター・法人内の相談員との連携のみに留まった。